

表 650 被嚢性腹膜硬化症 (EPS) の既往 治療方法 (新分類) 別 (腹膜透析の経験があるか現在施行している患者)

治療方法 (新分類)	なし	あり				合計	不明	記載なし	総計
		剥離手術既往あり		剥離手術既往なし					
		ステロイド 使用歴あり	ステロイド 使用歴なし	ステロイド 使用歴あり	ステロイド 使用歴なし				
施設血液透析 (%)	4,698 (91.1)	332 (6.4)	33 (0.6)	50 (1.0)	44 (0.9)	5,157 (100.0)	121	549	5,827
Off-line HDF (%)	131 (87.3)	15 (10.0)		3 (2.0)	1 (0.7)	150 (100.0)	3	26	179
On-line HDF (%)	1,710 (92.4)	98 (5.3)	5 (0.3)	20 (1.1)	18 (1.0)	1,851 (100.0)	51	190	2,092
Push/Pull HDF (%)	1 (100.0)					1 (100.0)			1
ハイオフィルトレーション (%)	10 (100.0)					10 (100.0)		2	12
IHDF (%)	179 (88.6)	20 (9.9)	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	202 (100.0)	9	21	232
血液濾過 (%)	1 (100.0)					1 (100.0)			1
血液吸着透析 (リクセル等使用) (%)	39 (84.8)	6 (13.0)		1 (2.2)		46 (100.0)	2	3	51
在宅血液透析 (%)	79 (88.8)	8 (9.0)		2 (2.2)		89 (100.0)	2	8	99
腹膜透析 (CAPD) (%)	3,132 (99.6)	10 (0.3)		2 (0.1)	2 (0.1)	3,146 (100.0)	47	1,780	4,973
腹膜透析 (APD) (%)	1,694 (98.8)	11 (0.6)		1 (0.1)	8 (0.5)	1,714 (100.0)	26	897	2,637
腹膜透析 (CCPD) (%)	655 (99.5)	2 (0.3)			1 (0.2)	658 (100.0)	4	343	1,005
合計 (%)	12,329 (94.7)	502 (3.9)	39 (0.3)	80 (0.6)	75 (0.6)	13,025 (100.0)	265	3,819	17,109
記載なし (%)									
総計 (%)	12,329 (94.7)	502 (3.9)	39 (0.3)	80 (0.6)	75 (0.6)	13,025 (100.0)	265	3,819	17,109

数値下のかっこ内は行方向の合計に対する%です。  
 \*腹膜透析 (CCPD) は、APDと手動のバック交換の両方を行うもの  
 ##D0611##  
 (C)Japanese Society for Dialysis Therapy  
 2016年調査